

【感情指標評価のための画像分析】 Affectiva Inc.

①要約：

このアイデアは、顔の画像を使用して感情を評価するための画像分析技術に焦点を当てています。感情指標の評価を行い、感情の種類や強度を定量化し長期的に追跡することが可能です。最終的に、感情変動の指標を表示することで、感情状態を可視化します。

②目的：

感情認識 AI を使用して個人の感情反応を収集し、分析することで、その感情の変化や強度を評価し、必要に応じて改善を促すことを目的としています。この技術は、教育やビジネスの分野で感情管理やコミュニケーションの向上に役立つことが期待されます。

③新規性：

このアイデアは、個人の感情反応を収集し、定量化する画像分析技術として新規性があります。従来の感情認識技術ではなかった視点から、感情の変化や強度を長期的に評価することで、新たな視点を提供しています。

④独自性：

感情強度指数という指標を用いて感情の変動を追跡し、それを画面上に表示するなど、独自のアプローチを取っています。87カ国の人々の顔データや大規模なデータベースを活用し、企業や教育機関など幅広い分野で活用されています。

⑤経済価値：

このアイデアは、感情管理やコミュニケーションの改善に寄与することが期待され、企業や教育機関などで広く活用されています。顧客や従業員の満足度向上や生産性向上といった経済的利益をもたらす可能性があり、経済的な価値を持つと言えます。